

# 総務常任委員会

総務常任委員会に付託された議案の審査経過と結果について報告します。

## ◆白河市東日本大震災復興交付金基本条例

復興交付金等要する経費の財源に充てることを目的とし、白河市東日本大震災復興交付金基金を設置するため、この条例を制定しようとするものです。

**問** 繰替運用に係る財政上必要となると認めるときの具体的な状況について

**答** 一般会計の一時的な不足が生じた際に、利息がかかる金融機関から借り入れをせず、基金から繰り入れする状況が考えられます。

## ◆白河市税条例の一部を改正する条例

地方税法及び国有資産等所在市町村交付金法の一部改正に伴い、公共下水道を使用する者が設置した除害施設に係る固定資産税の課税標準の特別措置を定めるため、所要の改正をするものです。

**問** 条例で定める割合を4分の3とした根拠について

**答** 市町村が条例で定めることが出来るようになった割合の範囲内で、近隣市町村にない、地方税法の規定と同様の割合、4分の3としました。

## ◆白河市復興産業集積区域における市税の特例に関する条例

復興産業集積区域において設置した一定の事業用施設等に対する固定資産税の課税を免除するため、この条例を制定しようとするものです。

**問** 復興産業集積区域の区域について

**答** 市内にある工業団地等の54カ所のことです。

## ◆大屋財産区特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出補正総額は、294万8000円増額となり、歳入歳出予算総額は309万2000円となりました。

款別補正の歳入については、使用料及び手数料44万3000円、繰越金184万7000円、諸収入78万8000円

をそれぞれ増額補正し、繰入金13万円を減額補正するものであり、歳出については、財産費294万8000円を増額補正するものです。

## 一般会計補正予算(第3号)

**総務部関係**  
歳出について

庁舎改修等工事費

857万5000円

地下にある休憩室の一部を会議室に改修するものです。

## ●市長公室関係

歳出について

東日本大震災復興交付金基金積立金

5250万円

震災で建替えが必要となった、久保、小丸山、双石の集会所整備事業に充当するものです。

▼付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。

## ◆行政調査

本委員会は、去る10月15日に次のとおり行政調査を行いました。

・議会基本条例について

議会基本条例とは

自治体の政府制度である二元代表制を首長と対等に担う議会が、主権者市民の付託に応えて優れたまちをつくるために、議会運営の理念・理念を具体化する制度・制度を伴った原則などを定めた条例で、当該自治体レベルの議会運営に関する最高規範として位置付けたもの  
(神原勝北海学園大学教授による定義)

会津若松市議会基本条例を学んで

議事機関たる議会はまず、多様な意見を多様に代表できる、という合議機関としての特性を最大限に生かしていくために、これまで以上に公平・公正・透明な議会や開かれた議会づくりを推進し、情報の提供と共有化を図りながら、市民の積極的な参加を求めていくことが必要である。

そして、より適切に政策を決定するとともに、その執行を監視し、さらには、政策提言や政策立案を積極的に行っていくかなければならない。

このような認識のもと、活発な議論を重んじる伝統と個

々を尊重しあう民主的な政治風土をしっかりと受け継ぎつつ、未来に向けた新たな価値の創造に向けて、不断の努力を重ねるとともに、市民の多様な意見を反映しうる合議体としての議会づくりを通じ、市民の付託にこたえていくことを学んできました。



説明を受ける委員

□会津若松市の花(あおい)・木(アカマツ)・鳥(かっこう)が議員席に漆塗りで描かれていました。



# 市民産業常任委員会

市民産業常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

## ◆白河市暴力団排除条例

暴力団の排除に関する基本理念を定め、市及び市民等の責務を明らかにするとともに、暴力団の排除に関する基本的施策を定めることにより、市民の安全で平穏な生活を確保し、及び社会経済活動の健全な発展に寄与することを目的とするものです。

**問** 制定する条文の市民の責務について、「～に努めるものとする」という表現になっているのはどうか。

**答** 福島県条例等を参考にし、目標意識を高める表現とした。

**問** これが制定されることによつてどう変わっていくのか。

**答** 県内全ての市町村で条例が制定されることにより、今後、さらに警察の対応の強化が期待される。

## ◆災害対策基本法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

法律改正の施行に伴い、災害対策基本法を引用している条項の整理を図るなど、関係

する白河市防災会議条例及び白河市災害対策本部条例について、所要の改正をするものです。

## ◆不動産の処分について

有限会社日本都市開発の来春操業に向けた工場新設のための用地に供するためです。

## 一般会計補正予算（第3号）

当委員会に係る主な歳出補正は次のとおりです。  
集会所整備事業

- 5017万3000円
- 設計委託料・建設工事費 3917万3000円
- 修繕費 1100万円
- 災害廃棄物処理事業 5274万4000円
- 仮置き場設置事業 4億4760万円

住宅用太陽光発電システム導入促進事業

- 1008万円
- ①補助対象 1キロワット当たり2万円（最大4キロワット）
- ②補助限度額 8万円

八重の桜関連事業 656万2000円

平成25年1月から放送されるNHK大河ドラマ「八重の桜」において、本市が舞台となる「白河口の戦い」が放送予定であることにあわせ、事業を展開し誘客を促進するためのPR費用です。

農地補助災害復旧事業 700万円  
農地単独災害復旧事業 2205万円  
農業用施設補助災害復旧事業 3430万円  
農業用施設単独災害復旧事業 2525万円

## ●産業部関係

**問** ドラマ放送により稲荷山に多くの観光客が訪れた場合、駐車場の確保が課題となる。また、他の古戦場を含めた案内の充実を。

**答** 駐車場隣接地の借用を含め検討している。また、古戦場を新たな観光資源としてルートマップ見直し等検討している。

## 一般会計補正予算（第4号）

当委員会に係る主な補正は次のとおりです。  
土地売却収入

7435万2000円

▼付託された議案は、いずれも原案のとおり可決、または同意しました。

## ◆現地調査

去る7月17日、放射能対策特別委員会と合同で除染対策に係る仮置き場について現地調査を実施いたしました。

## 調査箇所

- ・表郷地域仮置き場（表郷番沢地内）
- ・大信地域仮置き場（大信限戸地内）
- ・白河地域一時保管場所（旗宿地内）

また、去る9月11日には、同じく放射能対策特別委員会と合同で、平成24年産米の放射性物質全袋検査に係る現地調査を実施いたしました。

## 調査場所

- ・白河農業協同組合五箇営農センター



表郷地域仮置き場現地調査



平成24年産米の放射性物質全袋検査に係る現地調査





# 教育福祉常任委員会

教育福祉常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

## ◆白河市介護保険財政安定化基金特例交付金条例

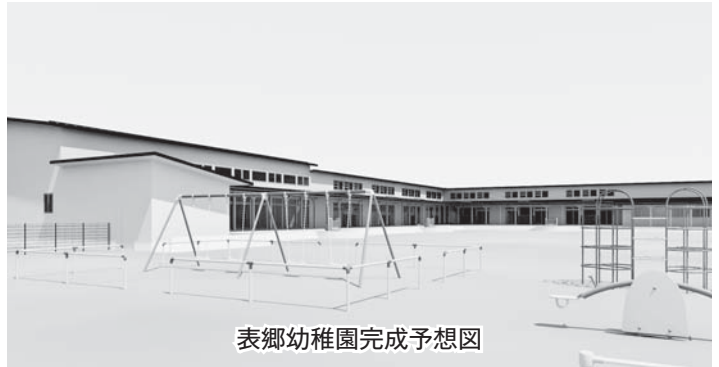
第5期介護保険事業計画期間における介護保険料の増加抑制を目的とし、白河市介護保険財政安定化基金特例交付金基金を設置するためのものです。

## 問 財政安定化基金特例交付金について

**答** 介護保険法の改正により、県介護保険財政安定化基金から市町村に交付される交付金の受入れのため基金の創設が必要となり、条例を制定するものです。なお、介護保険料には当初より算入しているため、介護保険料の変更はありません。

## ◆表郷幼稚園建設事業園舎建設建築工事請負契約について

表郷幼稚園建設に係る請負契約を締結しようとするため、議会の議決を得ようとするものです。



表郷幼稚園完成予想図

## 白河市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出補正総額は、3324万1000円増額となり、歳入歳出予算総額は、69億4152万3000円となりました。

**問** 国の補助金が10月から12月までが平成24年度の歳入となり、1月から3月までが平成25年度の歳入と分かれて支払われることについて

**答** 国の調整交付金は、1月から12月までが対象期間となっております。

## 白河市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出補正総額は、200万円増額となり、歳入歳出予算総額は億2144万2000円となりました。

## 白河市介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出補正総額は、1億1354万円となり、歳入歳出予算総額は47億7268万円となりました。

**問** コンピューター教育関係費のコンピューター購入の内訳と更新年数について

**答** 白河第三小学校が31台、白河第四小学校が28台、白河第五小学校が30台、関辺小学校が29台、みさか小学校が33台で合わせて151台を購入する予定です。今回は10年経過したパソコンの更新となりました。

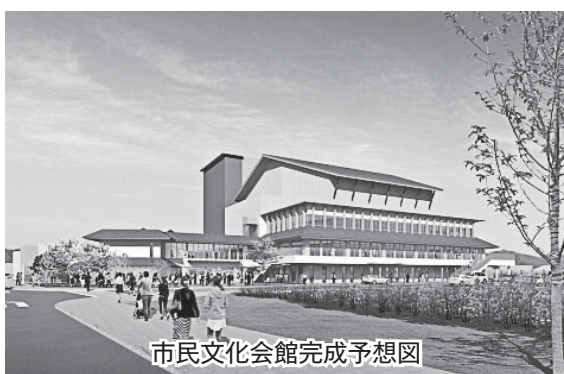
**問** 市民文化会館運営管理事業の管理運営検討委員会において、市民の意見を吸い上げるためのシンポジウムの開催について

**答** 本予算ではシンポジウムの開催経費は計上していませんが、今後シンポジウムの開

催も含め、市民の意見を反映させる方法について検討していきます。

**問** 管理運営検討委員会への女性の登用や障がい者の意見の聴取について

**答** 管理運営検討委員の3分の1を女性委員とすることで検討しています。障がい者の意見については建設検討委員会においても意見をとりまとめています。



市民文化会館完成予想図

**問** 予防接種事業において生ワクチンから不活化ワクチンに変更されたことによる保護者の不安対応について

**答** 保健センターだよりに不活化ワクチンの説明記事を掲

載するとともに、医療機関一覧とワクチンの内容を記載したお知らせを回覧しました。また検診の際にも説明を行っています。

▼付託された議案は、いずれも原案のとおり可決または同意しました。

## ◆現地調査

7月18日、介護保険制度改正に伴い介護現場である社会福祉協議会を現地調査しました。

8月17日、放射能対策特別委員会と合同でホールカウントー車による内部被ばく検査と信夫第二小学校の除染について現地調査を実施しました。



信夫第二小学校の除染

# 建設水道常任委員会



白河駅前イベント広場（野外ステージ）

建設水道常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

◆白河市白河駅前イベント広場条例について

イベント等の開催を通じた市民相互の交流促進及び中心市街地の活性化を目的とし、白河駅前イベント広場を設置するものです。

**問** 学生がイベント広場を利用する場合の使用料については、施設の運用に必要な事項は、規則で定めます。規則の中に減免規定を明記するので、利用目的によって全額または半額を減免することができません。

◆関川窪市営住宅建設事業建築工事請負契約について

◆松風の里市営住宅建設事業建築工事請負契約について

◆八竜神市営住宅建設事業建築工事請負契約について

市営住宅建設に係る各工事の請負契約を締結するため、地方自治法の規定により議会の議決を得るものです。

**問** 八竜神市営住宅の工事費が、他の市営住宅と比べ割高になっている要因について

**答** 八竜神市営住宅の敷地は現在、更地となっていて、敷地内に新たな道路築造や給水管理設をするための経費がかかるので、割高になります。

◆市道路線の認定について

市道改良拡幅事業、または、工業の森造成工事等に伴い、西郷搦目5号線、豊地米古沢線などの5路線を新たに市道として認定します。いずれの路線も市道認定の要件を具備しています。

◆決算の認定について

平成23年度白河市公営企業会計の決算について、地方公営企業法の規定により、議会の認定に付するものです。

①平成23年度白河市水道事業

会計、②平成23年度白河市工業用水道事業会計を審議しました。

**問** 石綿管の布設替の進捗状況について

**答** 簡易水道の大信地域、五箇地域を重点的に行っていますが、上水道では、総延長41万5760メートルのうち713メートル、0・2パーセントが残っています。

**問** 工業用水道事業の今後の使用水量の見込について

**答** 「工業の森・新白河C工区」に進出したヤフー株式会社については、味覚糖株式会社と同等の使用水量が見込まれます。

◆公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出補正総額は1億4957万5000円増額となり、歳入歳出予算総額19億9570万8000円となりました。

主な内容は、放射性物質が混入された汚泥処理に関する経費です。

**問** 汚泥乾燥機を導入する際に、脱臭対策等をもっと慎重に検討すべきであったと思う。今後は、地域住民の生活に支

障をきたさないよう対応してほしい。

**答** 今後は、地域住民に十分説明したうえで、設備の運用を図っていきます。

◆農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出補正総額は25万7000円増額となり、歳入歳出予算総額は10億8988万4000円となりました。

主な内容は、4月の人事異動に伴う人件費の整理です。

◆個別排水処理事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出補正総額は1001万3000円増額となり、歳入歳出予算総額は7095万4000円となりました。

主な内容は、合併処理浄化槽の追加設置に係る経費です。

**問** 合併処理浄化槽の設置申請が増加した要因について

**答** 東日本大震災で住宅が被災した方の住宅の新築や、消費税の引き上げ前の住宅の新築に伴い、増加したと考えられます。

◆簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出補正総額は1449万7000円増額となり、

歳入歳出予算総額は3億4692万3000円となりました。

主な内容は、五箇地区の配水管移設受託工事、及び小田川地区の配水管布設工事に係る経費です。

◆水道事業会計補正予算（第2号）

今回の補正予算の主なものは、議会の議決を経なければ流用することの出来ない経費の補正で、予算に定めた職員給与費を1億2486万2000円に改めるものです。

◆一般会計補正予算（第3号）

主な内容は、道路維持改修事業、小峰城史跡整備事業に係る経費などです。

**問** 中田市営住宅の借地料について

**答** 中田市営住宅は借地に建設されていて、当初、年間約570万円の借地料を支払っていましたが、老朽化により順次解体が進み、現在4戸のみとなり、今後すべて解体すれば、残りの借地料年間約50万円が解消されます。

▼付託された議案は、いずれも原案のとおり可決、同意または認定しました。